



大浦Lovers

長崎市立大浦小学校
校長 中尾 善蔵



毎朝の光景！

5月の全校集会では校長講話があり、話す内容を準備していたのですが、身内に不幸があり、教頭にバトンタッチして行ってもらいました。

日頃から、雨の日も風の日も、子ども達の安全を守っていただいている交通指導員さんやボランティアの方々の写真入りの紹介を、プレゼンを通して確認いたしました。子ども達に、お世話になっている方々に、しっかりと挨拶をするという意識を持ってほしかったからです。

早速、実行に移してくれたのでしょう。ある交通指導員さんからわざわざ連絡が入り、「学校で紹介していただいたようですね。孫からも聞き、また、ある児童は、名前を添えてしっかりと挨拶をしてくれました。」とのことで、とても嬉しくなりました。私の「思い」は、子ども達にも伝わったようです。

毎朝、7時40分から8時まで、玄関の前で立哨を行っています。全員とまでは言えませんが、みんな笑顔で挨拶してくれます。私より先に挨拶をしてくれた児童には、「ありがとう！おはようございます。」「百点」「素晴らしい」等と、言葉を添えて言うようにしています。

中には、元氣なく挨拶をする児童もいます。若い頃には、「声が小さい！」と強制してやり直しをさせていましたが、今は違います。感情の表出が苦手な児童もいます。気持ちはあるけど、声の大きさが伴わない児童もいるのです。また、体調が優れなかったり、何かの理由で寝不足だったりする子もいます。そんなときには、「大丈夫ね？元氣ね？」と積極的に声をかけています。

何気ない毎朝の光景ですが、子ども達の笑顔で、私自身、一日のいいスタートを切ることができています。

また、高学年の児童は、ランドセルを置くと、委員会の仕事として、挨拶運動と一緒にしてくれる児童や花の水やり、国旗・市旗・校旗・JRC旗の掲揚、一年生のお世話等を頑張ってくれています。本当に立派です！是非、保護者の皆様にも見ていただきたい朝の光景です！

どきどきとした 子どもの質問

朝の立哨が終わって、急ぎの仕事がなくて余裕があるときには、それぞれのクラスに足を運び、教室の前でも挨拶をして回っています。子ども達から、元氣な挨拶のシャワーを浴びるためです。

金曜日の朝、階段を降りようとしたとき、低学年の児童から呼び止められ、

「校長先生、学校で一番大切なものは何ですか？」と、質問をされました。

私は間髪を入れず、「子ども達の命だよ。」と答えました。

答えが唯一の質問があれば、答えがいくつもある質問もあります。学習の場面では、しばしばそのようなことがあります。

「ありがとうございます。」とお礼を言われ、階段を降りながら、「もっといい答がなかったか」と、ずっと考えながら校長室へ戻りました。

いくら考えても、「子ども達の命」よりも大切なものが浮かびませんでした。瞬発力のいる質問でした。表情には、まったく表しませんでした。が、ほんとにどきどきとした、子どもからの質問でした。唯一の答えを示すことができ、安心しました。

体育大会や運動会に向けて

昨日の日曜日、梅香崎中学校の体育大会にお邪魔しました。中学校約2年間の運動部活動の集大成である中総体を6月に控えているため、市内の中学校の多くは、昨日、体育祭を行っているようです。土曜日の天気が回復し、無事開催できてよかったですね。どの学年も、テーマに向け、ひたむきに頑張っていました。

来週は、いよいよ大浦小の運動会です。先日の代表委員会で、運動会のスローガンが決定しましたので、お知らせいたします。

赤と青 ライバルどうし 楽しもう！